

新作会発 第98号
平成24年11月1日

都道府県 作業療法士会
事務局 御中

(社)新潟県作業療法士会
会長 横田 剛
事業部 スキルアップ研修委員会
委員長 大野 裕子



スキルアップ研修会開催のご案内

拝啓 貴士会の皆様におかけましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、(社)新潟県作業療法士会主催による「スキルアップ研修会(精神・発達部門合同)」を開催することとなりました。

つきましては、まことに恐縮と存じますが、別紙の実施要綱をご覧の上、貴士会員の皆様に周知していただきたく、謹んでお願い申し上げます。

敬具

お問い合わせ先：(社)新潟県作業療法士会 事業部

〒940-2135 新潟県長岡市深沢 2278-8

長岡療育園 リハビリテーション

担当：大野裕子

TEL：0258-46-6611 FAX：0258-47-1243

メールアドレス：reha@nagaryo.or.jp

会 員 各 位

(社)新潟県作業療法士会 事業部

スキルアップ研修委員会委員長 大野 裕子

平成 24 年 10 月 1 日

スキルアップ研修会(精神・発達)のご案内

「からだところろの発達と障害～自分らしく生きるために～」



拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

私たちは、対象者にとって意味のある作業を手段として身体を通し脳に働きかけ、発達や能力開発を促す専門家です。ひとの発達の経過の中にあるつまづきについて理解をすること、からだところろがどのような関係にあり、自分らしさを獲得するにはどのような道筋があるのかを知ることは大変重要な意味があると思います。精神・発達分野に限らず身体・老人分野にも欠くことのできない内容であり、多くの皆様からご参加いただける内容だと思います。

今回のテーマとして、「からだところろの発達と障害～自分らしく生きるために～」を題し、講師には長沼先生を迎えることができました。先生は、精神分野、発達分野のどちらにも精通した医師であり、著書「活かそう発達脳障害」を執筆されています。からだと脳の関係や、良い部分を伸ばす治療など、私たちにとって必要な知識をわかりやすくお話ししていただけたと思います。午後には、当事者・ご家族を迎え、貴重な体験談から私たちができたこと・やるべき支援が何なのかを共に考える時間にしたいと思います。とても濃い内容の研修会だと思います。どうぞこの機会にご参加下さい。

敬具

記

1. 日時 平成 24 年 12 月 2 日 (日) 10:00～15:00

2. 会場 新潟医療福祉大学 実験実習棟 2階 G209 教室
新潟市北区島見町 1398 番地 TEL 025-257-4455(代)



3. 日程 9:15～10:00 受け付け

10:00～11:40

講演「からだところろの発達と障害～自分らしく生きるために」(仮題)

講師 北海道緑ヶ丘病院 精神科医 長沼睦雄先生

11:40～12:00 質疑応答

12:00～13:00 昼休み

13:00～13:50

講演 発達障害を持ち成人された方の体験談、その方の親御さんからのお話し

13:50～14:00 休憩

14:10～14:25 長沼先生からのコメント

14:25～15:00 シンポジウム形式にて質疑応答

司会 新潟医療福祉大学 作業療法士 永井 洋一

4. 参加費 県士会員 無料 非県士会員 4000円 他県士会員 1000円
県士会会員の方は、県士の会員証を必ずご持参下さい。
県士会費が未納の方は非会員扱いとなります。

5. 申し込み方法 必要事項記入の上、メールにて申し込み下さい。
申し込み先 n_skill_up@yahoo.co.jp (_ はアンダーバーです)
申し込み記載内容

- ①氏名 ②所属病院・施設名 ③県士会員の有無(協会会員番号)
 - ④日本作業療法士協会会員の有無 ⑤経験年数
 - ⑥連絡先(メールアドレスを記載ください。後日、受講の可否を連絡いたします)
- ※その他、公文書の必要でしたら入力ください。

6. 申し込み締め切り 平成 24 年 11 月 16 日 (金) 必着

7. 問い合わせ先 長岡療育園 作業療法士 大野裕子

FAX : 0258-47-1243 メールアドレス : reha@nagaryo.or.jp

件名「スキルアップ研修会 問い合わせ」とお願い致します。

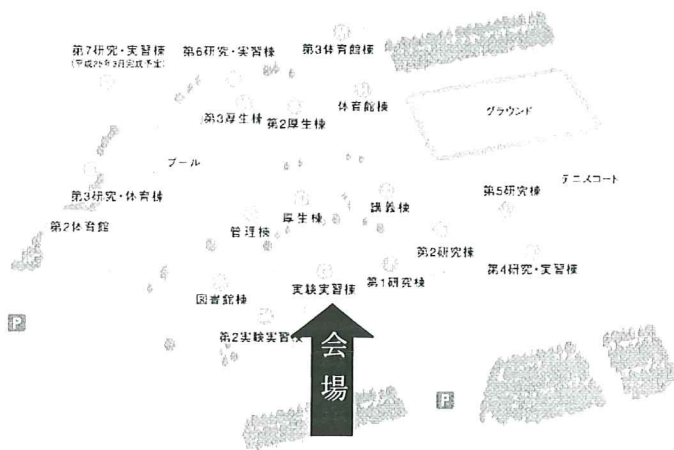
電話でのお問い合わせには対応できませんのでご了承ください。

8. その他

付近には飲食店等少ないため、あらかじめ昼食のご準備をお願いいたします。

生涯教育ポイントは、2ポイントになります

会場案内：新潟医療福祉大学 実験実習棟 G209 教室



著書紹介

第1章 「発達障がい」を脳から説明してみよう

第2章 脳汁の話—発達障がいと薬物治療

第3章 「いいところを活かす」のは治療です

第4章 脳の連携プレイを活かそう

第5章 脳みそのかたちを知る—

発達援助につなげるためのアセスメン

